



2026 年 7 月 9 日

各 位

会 社 名 ウイングアーク 1 s t 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 CEO 田 中 潤
(コード：4432 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役執行役員 CFO 藤 本 泰 輔
(TEL 03-5962-7400 (代表))

地方自治体向けサービス「Govlong EUC」導入団体数 500 団体到達に関するお知らせ

当社は、自治体システムの標準化・共通化に向けたソリューション「Govlong (ガブロン) EUC (注 1)」サービスの導入団体数が 500 団体に到達したことをお知らせいたします。当社は、システム標準化を起点としたソリューション展開において、さらに導入団体数を拡大し、自治体市場における圧倒的なプレゼンスの確立を目指します。

記

1. 背景

2021 年 9 月の「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」の制定に伴い、全国の自治体は標準仕様に適合した情報システムへの移行が義務付けられています。しかし、短期間かつ大規模なシステム開発による SE リソースの不足が顕在化するとともに、標準化に伴いこれまで各自治体がカスタマイズで実装していた機能の代替や、出力されなくなる帳票への対応など、業務運用に支障をきたさないための補完機能の整備が急務となっています。

2. 「Govlong EUC」の概要と提供価値

当社が提供する「Govlong EUC」は、標準仕様書に定められる共通機能（EUC 機能、帳票）と基幹業務システムを補完し、効率的なシステム開発やコスト低減といった課題を解決するソリューションです。当社の高速集計データベース「Dr. Sum」や国内シェア No. 1 の帳票ソリューション「SVF (注 2)」を活用し、自治体に以下の価値を提供しています。

- 標準準拠の EUC 基盤と業務補完
標準仕様書（基本データリスト）に準拠した EUC 機能を提供し、標準化で実装されない個別統計や帳票のひな形（業務補完テンプレート）を提供します。
- 独自施策業務への対応

標準化で実装されない独自施策業務についても、ローコード開発基盤を活用してデータ連携から入力、帳票出力までの業務オペレーション構築を実現します。

- データ連携基盤の構築

標準化対象・対象外システムを横断したデータ連携や、一部の自治体システムで利用されているメーカー独自文字から行政事務標準文字への変換を行い柔軟なデータ利活用環境を実現します。

- EBPM（証拠に基づく政策立案）への発展

データ分析・可視化ツール「MotionBoard」と連携し、蓄積されたデータのグラフ化や地図表現など、政策検討や市民への情報公開に向けた高度なデータ活用を一気通貫で支援します。

3. 今後の展望

今後は「Govlong EUC」によって標準化されたデータを活用し、自治体でのフロントヤード改革における業務システム連携を支える「データインフラ」としての展開を推進します。また、この「データインフラ」と生成 AI を組み合わせて提供することにより、自治体職員の生産性向上に貢献し、住民サービスの向上と行政 DX を力強く支援してまいります。

(注) 1 End User Computing（エンドユーザーコンピューティング）の略。システム担当者に頼らず、現場の職員自らシステムから必要なデータを抽出・集計・加工して業務効率の向上を実現できる仕組み。

2 デロイトトーマツ ミック経済研究所株式会社発刊 ミック IT リポート 2025 年 12 月号

「帳票設計・運用製品の市場動向 2025 年度版」図表 2-5 【運用】製品/サービスのベンダー別売上・シェア推移 2024 年度実績 (<https://mic-r.co.jp/micit/2025/>)

<製品・サービスに関するお問い合わせ先>

お問い合わせフォーム：<https://www.wingarc.com/contact/>

<IRに関するお問い合わせ先>

CFO 室 IR 担当

E-mail：wingarclst_ir@wingarc.com

以上